

「環境課外授業」を開催 —作業所見学を通じて小学児童が環境学習—

戸田建設(株) (代表取締役社長：井上舜三)は2月2日(水)に、東京都中央区立城東小学校4年生・5年生の児童16名を当社で施工中の「新宿御苑大温室 新営その他工事」作業所に招き、当社で初めてとなる「環境課外授業」を開催しました。

環境課外授業は、次世代を担う子供達に建設現場の見学を通じて、建築技術や環境(エコ)への工夫を発見・体感してもらい、自分達とエネルギーの関わりを考えるきっかけとなることを目的とした学習会です。第1回目は、昨年12月に当社の風力発電システムを同小学校に寄贈した縁もあり、城東小学校の児童を招きました。



写真-1 城東小学校児童の皆さん

城東小学校の校舎の屋上には太陽光発電用のソーラーパネルが設置され、5年前から全校を挙げて環境学習に取り組んでいます。作業所からの「植物を育てる空間をつくる難しさ」やCO₂排出量削減に向け自社製造を行っている「BDF(バイオディーゼル燃料)」の説明を、児童たちは興味深く聞いていました。

現場見学では、無柱空間をつくり上げる大きなトラス構造の鉄骨にガラスカーテンウォールを取り付ける作業を見学してもらいました。使用しているペアガラスは熱を逃がさない空気層を含んだ二重構造で、暖房のエネルギー使用量を抑えることができること、またクールチューブを使用した地中熱利用や、ペアガラスを部分的に自動開閉して、効率良く自然の風で熱を逃がす構造になっていることを説明すると、感心した様子でガラスカーテンウォールなどを見つめていました。さらに、BDFの臭いを嗅いで「天ぷら油のにおいがする」と不思議そうにしている子供達の顔が印象的でした。

戸田建設は、小学児童に建設業や環境に関心をもってもらうため、今後も「環境課外授業」を継続して開催していく予定です。



写真-2 最上部からトラス屋根を見る



写真-3 BDFの匂いを嗅ぐ児童